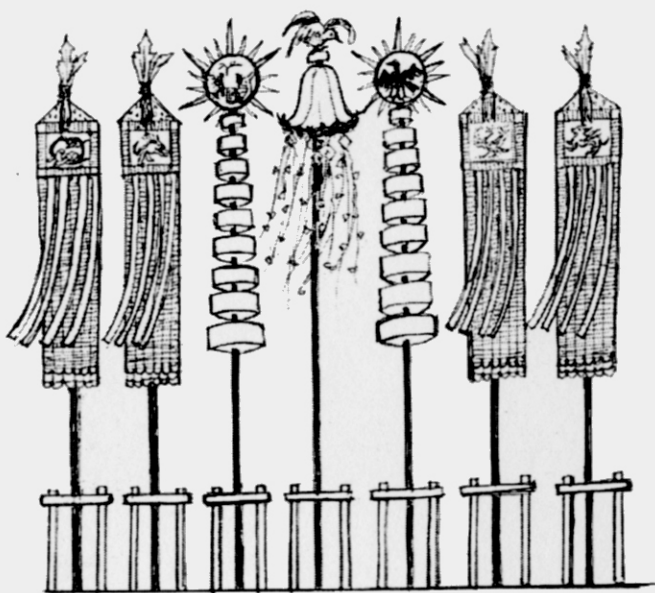


# 「むこうまち」 を 歩こう！

## 風の徑 コース

宝幢



玄武 白虎 日像 鳥像 日像 朱雀 青龍

### 向日市文化資料館

〒617-0002  
京都府向日市寺戸町南垣内40-1  
TEL 075-931-1182

#### むこうまちえき ① JR向日町駅

明治9年(1876)7月26日、大阪から延びる鉄道の終着駅として開業しました。途中の山崎駅は8月開業、大宮通仮停車場へ延伸するのは9月、京都駅開業は翌年2月なので、向日町駅は京都府下でもっとも早く開業した鉄道の駅ということになります。

#### もりもといせき ② 森本遺跡

昭和45年(1970)に第3向陽小学校の建設に先立つ発掘調査で数点の縄文土器片と磨製石斧、石皿、石鏃などの縄文時代の石器が出土。また弥生時代の水田水路に使われた2列の杭列も発見され、水路跡から出土した人面付き土器により、森本遺跡は全国的に一躍有名になりました。

#### せんぶくじ ③ 泉福寺

桓武天皇の勅願により、延暦15年(796)に創建されたと伝えられています。市指定文化財の室町時代の木造不空羂索観音坐像を本尊とし、通称三つ目観音と呼ばれ、眼病に霊験があると信仰を集めています。

#### しみんだいいくかん れきしぶんかこうりゅう ④ 市民体育館・歴史文化交流センター

体育館周辺の遺跡より発掘された土器や石器、古代の都・長岡京に関する展示があります。

#### とういんこうえん ⑤ 東院公園

市民温水プール建設地より発見された大きな離宮跡は、桓武天皇が平安京遷都前の2年間、仮の内裏とした「東院」として保存されてきました。しかし平成12年(2000)、ここから約1km北東の位置で、「東院」銘の墨書土器や木簡をとまなう大規模建物群が、新たに発掘されました。

#### たじょうかんくりやあと ⑥ 太政官厨家跡

鶏冠井町沢ノ東の公園付近です。長岡京で木簡が大量に出土した初めての地点で、地子(税の一種)を収納し、役人の食糧を管理する役所がありました。

#### ながおかきゅうついにしあと ⑦ 長岡宮築地跡

鶏冠井町稲葉にある長岡宮の役所を囲む堀の跡で、昭和56年(1981)に国の史跡に追加指定されました。長岡京の遺構としては、地上に残された唯一のもので、文化資料館の常設展示室入口に復元されています。

#### きたしんきょうじ ⑧ 北真経寺

鶏冠井町御屋敷にある日蓮宗の寺院です。もとは真言宗の真言寺がありました。鎌倉時代末期に日像上人の布教により、村人のすべてが日蓮宗に改宗し、

真経寺として信仰の中心となりました。江戸時代には僧徒の学校である檀林が置かれ生活を共にしながら勉強した場所です。現在の本堂は当時の講堂にあたり、京都府の登録文化財となっています。

#### だいいこうえん ながおかきゅうだいいかくついにしあつ ⑨ 内裏公園(長岡宮内裏内郭築地回廊跡)

鶏冠井町荒内にあり、天皇の住まいである内裏を取り囲む内郭築地回廊の跡です。初め内裏は大極殿の西側にありましたが、遷都から5年後に東側である現在地に移されました。昭和48年(1973)に国の史跡に追加指定されました。

#### だいくでんこうえん ながおかきゅうだいくでんあと しょうあんてんあと ⑩ 大極殿公園(長岡宮大極殿跡・小安殿跡)

向日市鶏冠井町に1200年以上も前の建物の名前「大極殿(だいくでん)」が今も地名として残っています。桓武天皇が政治を司ったところが「大極殿」で都の中で最も重要な場所です。「小安殿(しょうあんてん)」は、大極殿の後ろの建物を意味し「後殿(こうでん)」とも呼ばれています。昭和39年(1964)に国の史跡に指定され、現在、大極殿公園として市民の憩いの場となっています。毎年、11月1日には長岡京遷都を記念して「大極殿祭」が行われます。

#### こうりゅうじあと ⑪ 興隆寺跡

天正年間(1573~92)の終わりに日蓮によって開創された日蓮宗寺院です。豊臣秀吉の庇護を受けたと伝えられ、江戸時代まで大きな寺院でした。明治8年(1875)に廃寺となり、什宝、寺籍は石塔寺に引き継がれました。現在、堀の跡と石碑、その奥の竹藪のなかに歴代住職や古い檀家の墓場があります。

#### みなみしんきょうじ ⑫ 南真経寺

鶏冠井町大極殿にある日蓮宗の寺院で、鶏冠井集落にあった真経寺が檀林となったため、村民の信仰の場として、新たに江戸時代初期にこの場所に建立されました。寛永19年(1642)の棟札を持つ開山堂や、本堂は京都府の文化財に指定されています。

#### せっぽういし ⑬ 説法石

向日神社鳥居前の説法石はもと神社参道中ほどにあったそうです。日像上人がこの石の上で西国街道を行き交う人々に説法をした伝承があります。

#### きたやまいせき ⑭ 北山遺跡

標高約55mの向日神社境内にある、弥生時代の高地性集落です。土器や石器と共に、方形周溝墓も発見されています。

#### むこうじんしゃ ⑮ 向日神社

向日町北山にあり「明神(みょうじん)さん」の名で親しまれています。社伝によると奈良時代、養老2年(718)の創建と伝えられています。「延喜式」(927年成立)の神名帳に「向神社」と記載される古社です。応永25年(1418)に造営が始まり、応永29年に上棟された本殿は、室町時代の『三間社流造』(さんげんしゃながれづくり)という建築様式で国の重要文化財に指定されています。また同神社所有の「紙本墨書日本書紀神代紀下巻」も国の重要文化財に指定されています。

#### もといなりこふん ⑯ 元稻荷古墳(国史跡乙訓古墳群の一基)

向日神社北側の勝山公園内にあります。古墳時代前期(3世紀末)の全長約94mの前方後方墳で、乙訓地域の最古級の古墳です。出土品には、刀剣類、斧、土師器の壺などがあります。また、埴輪の原型となる特殊壺形土器や特殊円筒埴輪も前方部から出土しています。

#### すだけじゅうたく ⑰ 須田家住宅

寺戸町西ノ段にあり、屋号を「松葉屋」といい、明治30年代まで醤油の製造販売を営んでいた商家です。西国街道と愛宕道(物集女街道)の分岐点にあります。京都府の有形文化財に指定されており、将来にわたり保存するため半解体修理が施されています。

#### むこうしぶんかしりょうかん ⑱ 向日市文化資料館

古代の都長岡京(784-794)の宮跡の一角に遷都1200年を記念して昭和59年(1984)に建設・開館されました。常設展示「長岡京の歴史と文化」では発掘調査の成果をもとに都に暮らす人々の生活を紹介します。特別展や企画展、各種講演会、子ども歴史教室なども行われています。

〔開館時間〕午前10時~午後6時(入館は午後5時30分まで)  
〔休館日〕月曜日(休日の場合は開館し、直後の平日を休館)  
※詳しくはお問い合わせください。TEL 075-931-1182

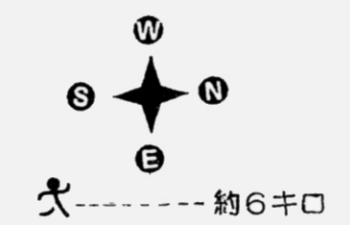
#### つきさかこうじょうやとう ⑲ 築禰講常夜燈

天保13年(1842)建立。築禰講(伊勢講)の人々により建てられた大常夜燈で、古くは「トウロウ」と通称された家が代々燈明の番をしてきました。

#### はんきゅうひがしむこうえき ⑳ 阪急東向日駅

京都での昭和天皇の即位式「御大典」に間に合うように新設され、昭和3年(1928)11月に営業を開始しました。新京阪鉄道としてスタートしましたが、戦後阪急の路線となり、現在にいたっています。

# 風の径

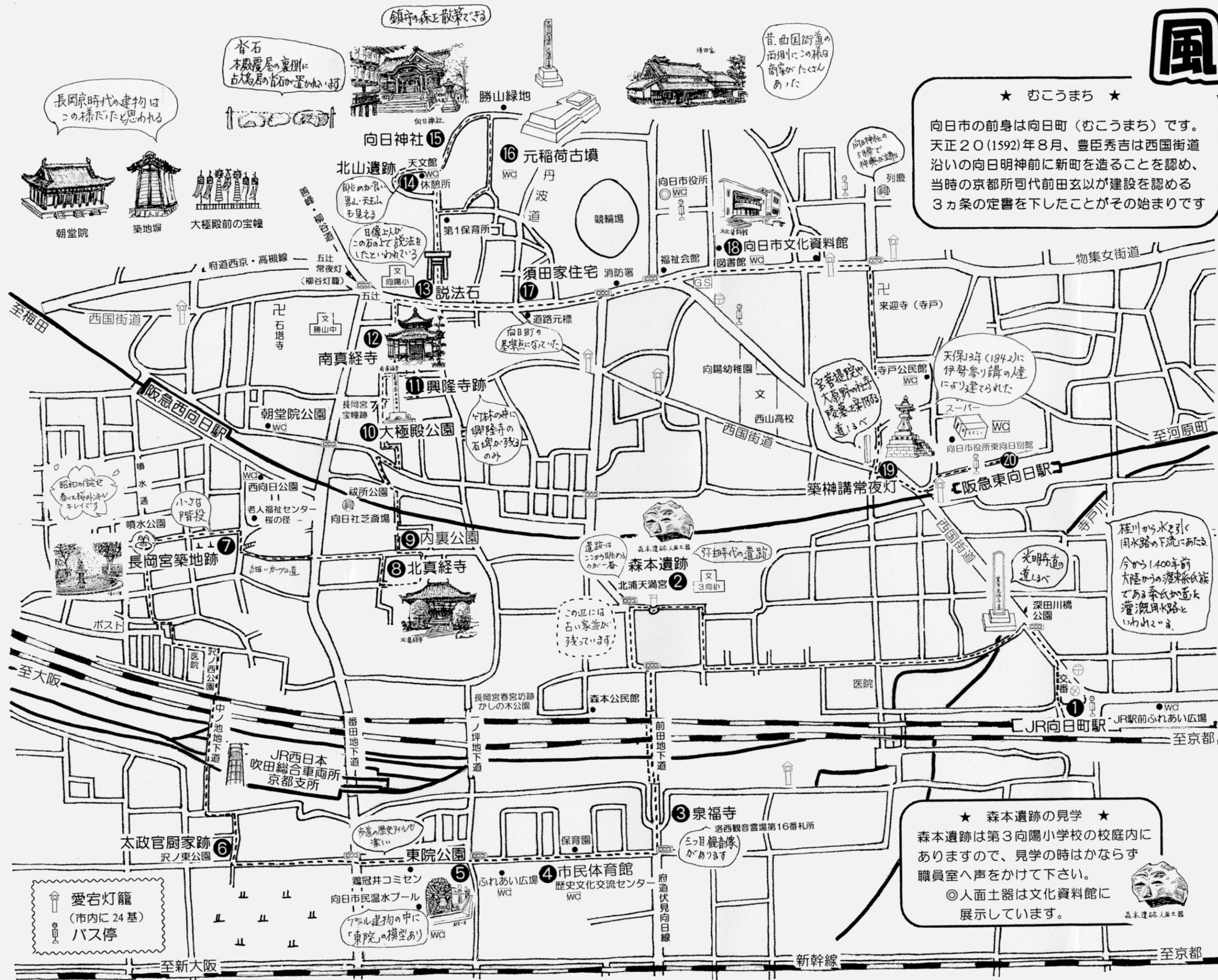


★ むこうまち ★  
向日市の前身は向日町（むこうまち）です。天正20（1592）年8月、豊臣秀吉は西国街道沿いの向日明神前に新町を造ることを認め、当時の京都所司代前田玄以が建設を認める3カ条の定書を下したことがその始まりです

★ 森本遺跡の見学 ★  
森本遺跡は第3向陽小学校の校庭内にありますので、見学の時はかならず職員室へ声をかけて下さい。  
◎人面土器は文化資料館に展示しています。

- ① JR向日町駅
- ② 森本遺跡
- ③ 泉福寺
- ④ 市民体育館  
・歴史文化交流センター
- ⑤ 東院公園
- ⑥ 太政官厨家跡
- ⑦ 長岡宮築地跡
- ⑧ 北真経寺
- ⑨ 内裏公園
- ⑩ 大極殿公園
- ⑪ 興隆寺跡
- ⑫ 南真経寺
- ⑬ 説法石
- ⑭ 北山遺跡
- ⑮ 向日神社
- ⑯ 元稻荷古墳
- ⑰ 須田家住宅
- ⑱ 向日市文化資料館
- ⑲ 築榊講常夜灯
- ⑳ 阪急東向日駅

阪急東向日駅からJR向日町駅までは徒歩7分です。



長岡宮時代の建物はこの様だと思われる  
脊石  
本殿裏の裏側に  
古く居る脊石が置かれています

昔、西国街道の  
西側にこの森は  
商家がたはんで  
あった

鎮守の森を散策する